



記念館だより

2024年1月

「まんがでわかる賀川豊彦」

加藤 輝勢子

2024年を迎えることができました。本年もよろしくお願いたします。ここ数年はコロナ感染症で行動制限がされていましたが、2023年5月よりコロナが5類に移り、いろいろなことができるようになりました。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの戦いで多くの犠牲者が出ています。一日も早く、平和で穏やかな生活ができるよう祈ります。

さて、2023年は関東大震災100年でありました。いろいろなイベントもありましたし、これから計画されているものもあります。今日はその取り組みの一つを紹介します。まんがでわかる『賀川豊彦と考えるボランティア』という本が12月に出版されました。関東大震災100年事業賀川豊彦とボランティア実行委員会・編、家の光協会の発行です。この本は関東大震災を中心に書かれている本です。最初にまんがでわかりやすく、本所賀川記念館の前身の本所基督教産業青年会の創始者である賀川豊彦の生い立ちや業績が書かれています。そこに現代の視点を入れたり、取り組みの裏付けなども説明したりしています。また、関東大震災のボランティアの姿や救援活動に関わった女性たちの話等々、とてもコンパクトにまとめられています。

そしてユニークなのは賀川豊彦のことや関東大震災のことがクイズ形式になっていて、子どもたちもとても親しみやすいところです。寄稿文を『春いちばん』の作家玉岡かおる氏、タレントの小島よしお氏、料理研究会の枝元なほみさん、歌手のアグネス・チャンさんや宗教研究家の山折哲雄氏が書いています。とても読みやすいので是非手にとってもらえればと思います。

私たちは本当に穏やかな日常を望んでいます。しかし、大地震や気候変動による大災害が世界各地で起きています。自分のところだけ大丈夫という感じではないのです。過去に経験した事柄からしっかり学び、これからの備える必要があると思います。そして後の世代の人へも伝えていかなければと思います。

昨年の12月には記念館でもみんなと一緒にクリスマス会ができました。4本のロウソクに灯りが灯りました。暗闇に輝く希望の光です。2024年の子どもたち、ご家族の歩みが、記念館に関わるお一人おひとりの歩みがイエス様に守られて歩むことができるようお祈りします。今年もよろしくお願いたします。

学童クラブ



12月16日(土)に記念館クリスマス会を行いました。1、2年生はページェントを、3年生以上はハンドベルの演奏を披露しました。はじめはクリスマス会の練習に前向きではなかった子どもたちも、役が決まったり曲が形になっていったりするにつれて、「セリフ覚えてきたよ!」「一人で練習してもいい?」とより良いものにしようと積極的に取り組んでいました。学校終わりの短い時間での練習でしたが、当日は緊張しながらもその成果を十分に発揮することができました。保護者の方からも大きな拍手と温かい言葉をいただき、笑顔あふれるクリスマス会になりました(西村)。



【閉館日のお知らせ】

2023年12月29日(金)～
2024年1月3日(水)の間、
記念館は閉館しています。



【クリスマス献金】

今年度のクリスマス献金総額は
30,962円でした。

この献金は国境なき医師団、いずみの会、
サブチルドレン子ども基金に捧げました。
心より感謝申し上げます。

コスモス食堂



12月のコスモス食堂ではデコレーションクッキーを作りました。生地作りではホットケーキミックスをこぼさないよう丁寧に混ぜていました。型抜きを何度も行ってたくさんのクッキーを作った後は、チョコレートやカラースプレーで思い思いにデコレーションを楽しみました。コスモス会の千代田さん、寺内さん、鹿子さん、高橋さんも子どもたちの手伝いをしてくださり、みんなで出来上がったクッキーを食べました!

次回はけんちんうどんを作ります。是非ご参加ください。

【次回日時】2024年1月20日(土)
10:00～13:00(予定)

記念館トピック

【賀川研究会】

「私の歩んできた道」 雨宮延幸
聞き書き 戒能信生著
『賀川豊彦研究』第54号(特別号)

2024年1月18日(木)
19:00～20:00

美術教室



第2～4週水曜日 15:00～17:00

講師：亀田谷亜礼先生

子どもたちみんな、想像のままにのびのびとお絵描きや工作を楽しんでいる美術教室です。

ピアノ教室



毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生

保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪